

生涯にわたって 社会のいたるところで学ぶための方法序説 人や地域をつなぐ社会教育事業のコーディネート

～心身障がい者青年教室における事業連携の実践～

中泉 理奈

提案・学習によって人や地域をつなぐための事業連携におけるコーディネートについて一緒に考えてみましょう。

荒川区生涯学習課で実施している心身障がい者青年教室「さくら教室」(以下、「さくら教室」)は、生涯にわたって教育や文化・スポーツなどさまざまな活動に親しむ機会を創造し、社会生活や余暇をより充実させることや、学習を通して仲間や地域と交流し、共に生きる力を養うとともに、一人ひとりの自己実現につながることを目的に活動しています。クラブ活動(スポーツ、音楽、美術、生け花、パソコン)や各行事(校外学習、城北ブロッコ合同レクリエーション、お楽しみ会、作品展、特別講座)を年に17回実施しています。

参加は、区立中学校特別支援学級卒業生および区内在住・在勤・在学の知的障がい者で、原則として会場まで通うことができない。提案し、講座を探しました。令和5年11月22日、荒川区社会福祉協議会主催の「防災ユニバーサルウォークリーダー養成講座」に社会教育指導員と一緒に参加しました。

多様な地域の方が参加できる防災まち歩きを取り組みを知り、リーダー養成講座の講義を受けて、私は自身が担当している「さくら教室」のことを思いました。「さくら教室」には、行事のひとつに特別講座があり、スタッフと協議し、受講生の学習に必要と考える講座を実施しています。令和5年度の特別講座では、7月に模擬選挙の体験を実施し、次年度も受講生の暮らしに役立つ講座を企画したいと考えていたからです。

「防災ユニバーサルウォーク」は「さくら教室」の受講生が個別に申し込んで参加できる、また、「さくら教室」として「防災ユニバーサルウォーク」を実施することができたら、地域の

き、自立して活動できる方を対象としており、令和6年度は86名が活動しています。

令和6年度「さくら教室」の特別講座では、荒川区社会福祉協議会(以下、社会福祉協議会)と連携して「防災ユニバーサルウォーク」を実施しました。

「防災ユニバーサルウォーク」は、社会福祉協議会が主催し、「あらかわボランティアネットワーク」と共催で実施しています。子どもから高齢者、障がいのある方々と共に地域を歩きながら、互いの違いや共生について考える機会をつくり、共に生きる地域づくりを目指すことや、災害に強い街づくりに向け、都市型災害について住民の方々と各種の防災情報や意識を共有し、住民やボランティア、関係機関等のネットワークづくりを行うことを目的にしています。

この事業は、事前にリーダー養成講座を実施し、多様な地域住民に対して、防災意識を共有していく上での「まち歩き」の役割について、住民リーダーと活動を知ってもらうことなどの課題を挙げました。課題を整理した結果、事業を連携して実施することは、それぞれが抱える課題の解決につながることを認識できました。実施日程を検討し、それぞれの組織に持ち帰って相談することになりました。

私は、社会教育事業づくりの際、学びによって人や地域をつなぐ事業であることや、関係各所がWin-Winの関係になる連携、協働することで新たな学習の機会をつくるためになんかことを意識しています。社会福祉協議会と生涯学習課の担当者の打ち合わせでは、それぞれの事業紹介と課題を出しあいました。「防災ユニバーサルウォーク」では、知的障がいのある方の事業参加が少ないこと、知的障がいのある方への住民理解を促す事業の必要性が課題として挙げられました。また、「さくら教室」としては、災害時に備える学習の必要性や、地域の方に「さくら教室」の取り組みや受講生の

ユニバーサルウォーク
～防災まち歩き～

子どもから高齢者、障がいのある人もない人もみんなと一緒に防災をテーマに歩くウォークラリーです。
今回は、心身障がい者青年教室で学ぶ児童の受講生である程度障がいのある方と一緒にまち歩きします。お一人でもご参加下さい、ぜひご参加ください。

令和6年6月23日(日) 9:30～12:00 小規模行 参加費無料

9:30 集合・オリエンテーション(生涯学習センター 荒川3-49-1)
10:00～11:00 防災まち歩き(1キロくらいの歩程)
11:00～12:00 避難所アース体験(アグロスあらかわ 荒川2-57-8)

ユニバーサルウォーク リーダー講座
防災まち歩きのボランティアリーダーも募集しています

【お申し込み】
①お名前 ②電話番号 ③年齢
④メールアドレス ⑤年令
⑥既婚事項 (障がいや車イス使用の有無等)
⑦参加日程
※どちらかを選んで記載
「リーダー講座・当日ともに参加」または「当日のみ参加」
以上をご記入の上、電話・FAX・Eメール・申込フォームより、荒川ボランティアセンターまでお申込みください。

申込フォームはこちら↓↓
https://forms.gle/3E6nQd5dZ
こちらの二次会
コードからも
アクセスできます

【お申し込み締め切り】
当日参加分 6月15日(土)
リーダー講座 5月27日(月)

【お申し込み】
①お名前 ②電話番号 ③年齢
④メールアドレス ⑤年令
⑥既婚事項 (障がいや車イス使用の有無等)
⑦参加日程
※どちらかを選んで記載
「リーダー講座・当日ともに参加」または「当日のみ参加」
以上をご記入の上、電話・FAX・Eメール・申込フォームより、荒川ボランティアセンターまでお申込みください。

申込フォームはこちら↓↓
https://forms.gle/3E6nQd5dZ
こちらの二次会
コードからも
アクセスできます

【お申し込み締め切り】
当日参加分 6月15日(土)
リーダー講座 5月27日(月)

【主催】あらかわボランティアネットワーク
【問合せ・申込み】荒川ボランティアセンター(荒川区社会福祉協議会)
荒川区南千住1-13-20
TEL 03-3802-3338 FAX 03-3802-3831
Mail: yoroban@yoban.or.jp

ユニバーサルウォーク～防災まち歩き～チラシ

となつたため、再度担当者で打ち合わせを実施しました。リーダー養成講座で、知的障がいのある方への理解、説明するときの工夫点や注意点を学習する機会をつくりたいことや、「さくら教室」の受講生の運営管理で共通認識しておきたいことなど、事業の目的の共有を行いました。また、ゴールとなる「アクロスあらかわ」での福祉避難所の体験学習が十分に行えるように班ごとに到着時間を調整する工夫なども検討しました。

「リーダー養成講座」への参加と事業づくり

令和6年6月2日実施した「リーダー養成講座」には31名の参加がありました。「さくら教室」からは私たち担当職員4名とスタッフ6名が参加しました。

「リーダー養成講座」では、最初に社会福祉協議会職員から概要説明、次に神保氏より「知的障がい者とのコミュニケーション」についての講座がありま

した。さらに理解を深めるため、知的障がい等の疑似体験として、視覚的な認識の違い、音の聞こえ方の違い、言葉以外の方法も活用したコミュニケーションについて体験学習をしました。

私は、この体験学習への参加から、「さくら教室」のボランティアを希望される方にも、このような体験学習を受けてもらい、知的障がいのある方への理解やコミュニケーションの促進につなげたいと思いました。私たち職員も学び、新たな気づきを得ることができました。

講座の最後に、福祉避難所ブースの設置体験を行い、当日の福祉避難所体験のイメージを持つことができました。地域の方と声をかけあつて一緒に設営し、当日に向けての一体感も生まれるように感じました。

「リーダー養成講座」に参加した後日、実施日が雨天の場合を考え、雨プログラムを細かく組みました。室内の待機時間が長くなることや口頭のみ説明

だと理解が難しい場合があることから、防災クイズのような内容（視覚的にもわかるもの）があると良いのではないかと考えました。社会福祉協議会に提案してみたところ、防災クイズの作成を引き受けてくださり、リーダーさんに調整していただくことができました。

「防災ユニバーサルウォーク」の実施

6月23日（日）「防災ユニバーサルウォーク」当日の朝は本降りのでした。各班が出発できる頃に雨がಾಗることが予想されたため、雨の状況を見ながら運営しました。

スタート地点の荒川区立生涯学習センターには、参加者と運営者を合わせておよそ140人が集まりました。

防災ユニバーサルウォークのリーダーおよび参加者は社会福祉協議会が受付し、「さくら教室」のスタッフと受講生は別の部屋に集合しました。「さくら教室」

ウォークを実施するので、是非また参加してください。」このように、今後の学習の継続について発信してくださいました。

受講生感想からの気づき

受講生アンケートでは、「防災のことが学べましたか?」、「地域の人と楽しく学ぶことができましたか?」の二問について選択制で聞きました。参加したほとんどの受講生が、防災のことを地域の方と楽しく学ぶことができた」と回答してくれています。

の受講生は、はじめての活動で、どんなことをするのか楽しみにやってきた方、少し緊張されていた方などがいました。「さくら教室」のスタッフと受講生が合流し、健康観察カードや飲み物の確認を行いました。

開始時間の9時30分になり、はじめに、防災ユニバーサルウォークについて、社会福祉協議会地域ネットワーク課長福田めぐみ氏からお話をいただきました。次にまちを歩く時の諸注意を神保氏が受講生に伝えました。(写真1)

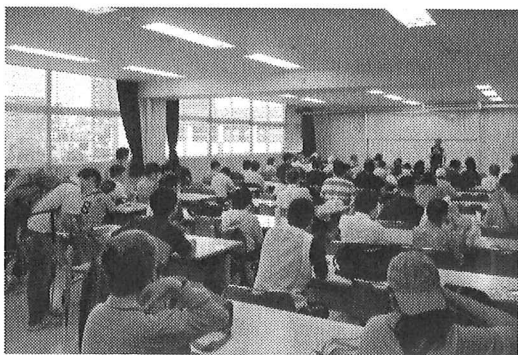


写真1 出発前「さくら教室」の受講生が神保氏の話真剣に聴く様子

また、自由記述では、「ふだんは、いつも通る所にしようかきやかもどベンチとか、いろいろ知れて良かったです。(記述原文のとおり)」という感想があり、日常生活の中で災害が起きた時に役立つ学習をしてもらえたことができたと感じました。また、「いっばい歩きたいけんできた。わからぬいっばい歩きたいあつたけど、いっばい歩いてやせた気がする。(記述原文のとおり)」この感想からは、体験活動をみんなと一緒ににしたことで、がんばってたくさん歩くことができたと感じました。運動不足解消や健康づくりの観点からもこの取り組みは効果があったように感じました。

当日は荒川ケーブルテレビからの取材もありました。二次元コードからご覧ください。
※ YouTube: 荒川区公式チャンネル(ウイークリニュース) 2分18秒〜4分39秒



写真2 防災広場で釜戸ベンチについて説明を聞く様子



写真3 リーダーを先頭に病院に向かって路地を歩く様子

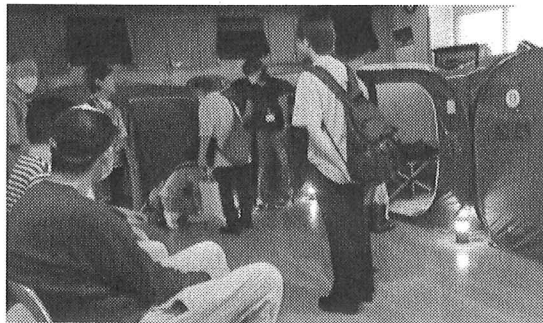


写真4 福祉避難所の体験ブースの様子

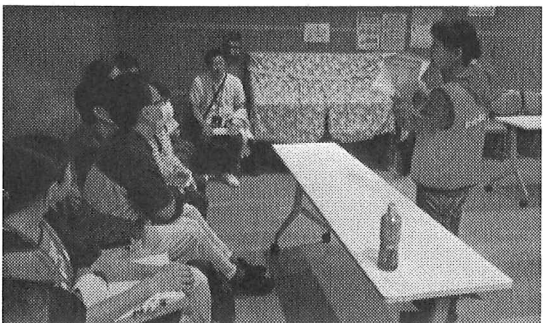


写真5 クイズの様子

ふりかえり課題と今後に向けて

「防災ユニバーサルウォーク」終了後、「さくら教室」スタッフと個別でふりかえりを実施し、その後、リーダーと「さくら教室」スタッフ、担当者が一緒に懇談会（ふりかえり・運営側との交流・意見交換）を行いました。（写真6）

ふりかえりで、私が印象に残っていることは、「私自身、障

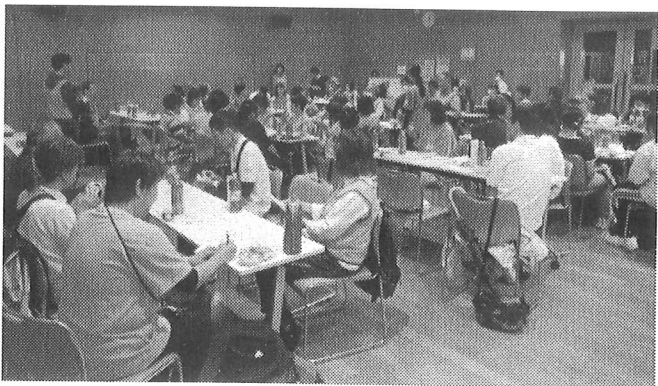


写真6 懇親会では、グループごとに着席し、ふりかえりを行った

いがあるが、他の障がいがある方のことを知らずにいた。この事業に参加して、一緒に活動して知ることができました。」というリーダーの方の感想です。連携して学習機会をつくったことよって、お互いを知ることからはじめられ、人や地域につながるきっかけとなり、共助につながると感じました。後の担当者ふりかえりで、社会福祉協議会の担当者もこの一言によって、事業が目指したことで、目的のひとつが達成できた実感話を話してくださいました。

「防災ユニバーサルウォーク」はケガや事故なく、無事に事業を終えることができましたが、運営面での連携の課題として、防災ユニバーサルウォークのリーダーと「さくら教室」のスタッフとが事前に顔を合わせ、コースの紹介や相談できる時間が持てたほうがよかったことや、私たち職員同士も、事業直前もしくは当日の朝に、兩プログラムの流れや運営する人の動きに

ついて確認できたほうがよかったです。また、温暖化が進む昨今、野外活動の実施時期、受講生の学習ペースを大切にしたい時間の設定についても検討課題だと考えています。

今回の連携した取り組みでは、「さくら教室」の受講生が、防災について学ぶ機会を持つことができたことや、今後、学習の場に参加する機会を増やすきっかけになったことが成果のひとつとなりました。さらに、社会福祉協議会の担当者から、地域の方に「さくら教室」を知っていただく機会をつくるために「サマーボランティアスクール」事業（小学生から大人までを対象とした、社会福祉施設や地域の活動等にボランティア体験をマッチングする事業）で、連携について検討したいとお声がけいただいたことは、「さくら教室」にとつて今後の活動が広がっていくことになりとてもうれしかったです。連携・協力して事業

をつくることで、多様な学習機会の提供ができ、事業運営の担い手となる方への周知にもつながりました。

今後にも必要に応じた連携・協力を心がけ、地域の事業や取り組みにアンテナを立て、足を運んで参加・体験し、自らの気づきを学びの循環を生み出すコーディネートに活かしていきたいです。

おわりに

「防災ユニバーサルリーダー養成講座」では、令和6年能登半島地震の被災地にてボランティア活動をされた方から、被災の状況や復興の現状などのお話を伺いました。被災された皆様にとともに、被害を受けられた皆さまの安全と一日も早い復興をお祈りいたします。

中泉 理奈

（なかいずみ・りな）

荒川区地域文化スポーツ部生涯学習課社会教育主事